

二 部 地 区 活 性 化 だ よ り

野上川の風

発 行
二部地区活性化推進機構

編 集
総 務 部 会

事 務 局

〒689-4233
西伯郡伯耆町二部1562-1
二 部 公 民 館 内
TEL・FAX 0859-62-7159



実



花



全景

ウワミズザクラの三様

全国植樹祭への思い

白根暢之(東畑池)

天皇皇后両陛下ご臨席のもと、第六十四回全国植樹祭が五月二十六日にとつとり花回廊と鏡ヶ成で行なわれました。鳥取県では、昭和四十年五月に大山町で第十六回大会を開催以来、四十八年振り二回目の開催でした。当時、二十代の私は、博労座のお手播き会場で昭和天皇皇后両陛下をお迎えし、赤松と沖ノ山杉のお手播きされるのを間近で拝覧しました。

四十八年振りに行なわれた全国植樹祭は、時代の流れに添って針葉樹から広葉樹へと変わり、会場周辺を関係者として視察し、外来種でなく、地生する樹木で苗木にできるもの三十七樹種に決定しました。鳥取県山林樹苗協同組合に苗木を依頼され、私は八樹種三千本を受け持ちました。

皇后陛下お手植えのウワミズザクラはバラ科でサクラ属です。サクラと名はついておりますが、サクラのような派手さはなく、淡い花を二面に付ける綺麗な木です。花は房状に咲き、実も房状に付きます。幼果は塩漬に、熟果は果実酒に最高です。七月から八月頃が収穫時です。二部地区にも沢山ありますので、チャレンジして下さい。

盆花・農産物販売

産業振興部会長 車 睦宏



平成24年度 盆花農産物販売

お盆前になると各地で盆花の販売が開かれますが、すぐに販売終了になったり、スーパーなどでは値段が高騰したりでなかなか購入しにくいこともあり、「当機構で盆花の販売ができないだろうか。」との意見が多くありました。協議の結果、産業振興部会がその役を引き受け、盆花はアスターに決定し、早速、住田泰顧問さんに栽培講習会を開いていただき、大勢の参加者の方々に種子を配布し栽培をして頂きました。

販売当日、早朝より大勢の皆様方にお越しいただき、予定時間開始よりも早く販売し、開始あつという間に完売する盛況振りでしたが、時間丁度にお越しいただいたお客様に今後は開始時間を厳守するようにと、きついお叱りを受け、今後に向けての反省点となりましたが、今思えばご注意くださいお蔭で今があるのだと自覚するところです。

一昨年、昨年は異常気象の影響によりアスターの栽培に非常に苦労する中、生産者の皆様に無理なお願いをして開催する事ができました。今年で四年目を迎えますが、生産者の方々の減少する中、皆様に喜んでいただけるよう頑張りたいと思いますので宜しくお願いいたします。

前期の一斉清掃を 振り返って

住みよい環境部会長 畑 嘉夫



平成25年度 一斉清掃(前期)

今年の前期の一斉清掃は、第六十四回全国植樹祭の為、二月早く五月十二日に実施しました。田植えの最中にもかかわらず、多数の皆様の参加を頂きありがとうございました。当日、初めて全地域を回りましたが、残念なことに一部の地域では、未だに不法投棄がなくなりません。その為、鳥居の形をした看板を作り、今年度中には設置します。他にも良いアイデアがありましたらご一報ください。ゴミの量は清掃を始めた頃より随分減り、二〇〇kg前後でこの数年推移しています。最近、二部地区はゴミの量(特に空き缶)が、随分減つてきれいになってきていると感じます。これも一重に皆様のご協力のお蔭です。

これからも、ゴミのない二部地区を目指し、年二回の一斉清掃を続けていきますので、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

自然の恵に感謝して

西村豊子(畑池中央)

五月八日、活性化の「趣味と生きがい部会」が、「鵜の池を散策し、そこで採った山菜を天婦羅にして食べよう」という会を計画しました。当日は晴れあがった青空、新緑の山、鵜の池の澄んだ水面に八重桜が映りとても神秘的でした。

今年度はじめて「趣味と生きがい部会」の一員となり参加させて頂きとても嬉しかったです。池の周辺で「わらび・タラの芽・こしあぶら・藤の花」を採取し、準備した山菜も含め十八種類以上のものを揃えることができました。自然の恵に感謝し、皆さんが童心に返り、大声をあげはしやぎながら、採った山菜を八重桜の木の下で、おにぎりをかぶりつきながら天婦羅にして食べました。とてもおいしかったです。この味は私にとつて忘れることの出来ないものとなり、また、素晴らしい思い出の一つとなりました。環境は人をつくり、人は環境をつくると思います。こんな環境は是非とも後世に残したいものです。

今まで活性化事業に参加したことなかった私にとって、素敵な活動の中で素晴らしい仲間と友達になることが出来ました。今後は多くの方々と二部谷を活性化して楽しい人生を送ろうと思つています。次回は皆さんもぜひ参加してください。十八名の皆さんと共に楽しい時を送れたことを感謝します。ありがとうございました。やっぱり、ふるさと二部はいいな〜！



平成25年度 山菜を食べる会

ドーム菊で住まいを飾ろう

住田 泰(福岡)

ドーム菊は、ドーム状に小輪花が十月～十一月に美しく咲きます。株分けや挿し芽の時期により、生育時期の長短がドームの大きさを左右します。冬至芽の株分けや四月挿し芽は径四～五〇センチの大株となり仕上げ鉢は八～九号鉢です。五月から六月上旬の挿し芽はおよそ径三〇センチ位で中鉢の七号が適します(公民館配布苗用も)。なお、花壇植えは株の大きさと株間を加減します。また、菊苗は初めから大鉢に植えても生育が悪く、小苗は九センチのポリポットから始め、次に五号鉢にして、仕上げ鉢へと鉢替えをします。鉢底に根が見える頃が鉢替え頃です。

用土は、市販の「花と野菜の土」に同量の「中粒赤土」を混合して準備します。肥料も市販の粒状油粕穀模肥料ですが、農業用化成肥料でも可能で元肥と追肥に分肥します。水かけは朝を原則とし、鉢土の表面が乾いてきたら灌水します。鉢置場は陽の当たりの良い屋外の台上に並べ、開花期には雨の掛からぬ屋根下等で咲かせます。また、間伸び易い品種は随時、摘心し、場合によっては、徒長抑制剤の「ピーナイン」三〇〇倍液を噴霧する方法もあります。



平成24年度 菊花展

ふるさとの思いが詰まったジゲの味!

フアンクラブ会副会長 其山 守美

ふるさと小包「たべてごしなない二部の味」を、夏と冬の年二回、全国に発送しています。二部地区の特産品や加工品、手づくりの作品など、心のこもった品々を箱一杯に詰め込んでいます。

私は、中に詰める手づくりの物品も好きですが、「わいわい、がやがや」言いながら楽しく進める準備作業がとても好きです。柚子取りや銀杏拾いから始まり、発送するための箱づくりとラベル貼り、手づくり味噌一瓶一瓶へのシール貼り、詰める順番を確認しながらの梱包作業、そして発送式……。夏七〇箱、冬二〇〇箱の準備は大変ですが、手づくり小包には、二部の味とふるさとをこよなく愛する熱い思いがぎゅっ詰まっています。このようなふるさと小包の発送や特産品づくり、一斉清掃や道標設置、花づくりや健康づくり、ボランティア活動など二部地区活性化の取組は、他地域には真似のできない素晴らしい活動だと思っています。私もこの活動に参加させていただくことにより、ふるさとをこよなく愛する心を学び広げていきたいと思っています。



商品の箱詰め作業

新ちゃんのお笑い人権高座

呼ぶ会 大森 紀子

私たち「呼ぶ会」実行委員会は三部を拠点にして、人権の発信を目的に活動をしています。今年是人権落語家の露の新治さんをお呼びしました。露のさんの講演要旨をご紹介します。

《個人の責任ではないこと(生まれた場所、体格、容姿、体質、年齢、性別等)が欠点と思わされるような社会意識に問題がある。それこそ必要のない分け隔てであり差別だ。小さいころから比べられて育ってきた功罪



人権講演会

(自分より下がいてほしいという思い)があるからだ。ではどうすればいいのか?人は自分に自信ができた時、他人を見下すことは必要でなくなる。自分の考えを持つ。自分に自信(自心)を持つ。

部落解放運動に出会って、社会意識の縛りから解放された。それまで体質のように当たり前のようだった偏見も、正しいことを知ることできなくなっていた。「そつとしておけばなくなる。」と言う人の心にこそ差別意識がある。》

私自身忙しい毎日を過ごしていますが、年に一度のこの取り組みで、日頃の自分の生き方を問い直しています。また、この活動を通して、仲間づくりや地域づくりにつながりたいと考えています。

高齢者ふれあいサロン

二部あけぼの会長 忠田 延雄

梅雨晴れの暑さが続く中、待望の小雨となった六月十五日、二部高齢者カローリング大会を開催しました。

ふれあいサロンも今年で三回目を迎えました。初年度は「ちまき作りと手品・隠し芸」等、昨年は「桜餅作りとゲーム遊び、茶話会」、そして、今年は新装となった二部体育館で二十八名参加のカローリング大会となりました。

大会後、たたら会館に移動し、全員に豪華(?)なプレゼントを配り、昼食を共にし、楽しい二時を過ごしました。

ふれあいサロンは、高齢者の健康管理と親睦を図ることを目的として、二部区・民生委員・福祉委員の協力により、「二部あけぼの会」が中心に計画・実行したものであります。

ゲームは、五チーム編成で和気あいあいの中に進行了しました。ゲームの始めに「あまり勝敗にはこだわらないで。」との話もありましたが、いざ試合が始まると、ジェットローラーが思うようにポイントゾーンに入りません。「もう少し左だ」「もう少し右だ」「力を入れて」「力を抜いて」等、応援席から声援がとびます。選手

の皆さんも「喜・憂」「勝った」「負けた」と大きな声で叫び、ゲームに二丸となつて熱中していました。

チームワークの良さが、さらなるよりどころとなり、老人会のますますの発展と魅力ある活動のクラブ源となることを望みたいものです。

これからの人生、何が大切かといつても、健康ほど大事な宝ものはありません。月日の流れるのは早く、何歳になろうと、一日一日を大切に、楽しく、元気であれば何でもすることが出来ます。

とにかく地域で、家庭で、生活出来ることに誇りを持って頑張りたいと痛感したカローリング大会でした。



カローリング大会

八幡さんの輪くぐり

山根 宏子(福吉)

野上荘神社では、毎年7月31日と12月31日、大おのり(おのり)の行事を行なっていますが、特に7月31日夕刻より行なうおのりを夏越のおのり(輪くぐり)と言い、大きな茅の輪をくぐる祭りです。

事前に配った人の形をした形代に願いを込めてお供えし、心身共に清らかな気持ちで過ごせるように願います。

前日30日の早朝、総代さんと共に氏子の方から提供いただく茅場で茅を刈り、きれいにゴミを取り除き、午後より総代さん総出で大きな茅の輪を作り上げます。

当日は、20時頃、お参り下さった方々と共に拝殿にて「大祓」を奏上し、各家庭の平穏を祈り、野上の郷に穏やかな風が流れることを願うのです。



しろ 型代

春先、田植えあけくには低温が続く、水稲の生育が懸念されましたが、入梅のころからは気温が急上昇。この調子だと刈り取りも早まるのではないかと、思いながら、「あながき」を書こうとしていた七月十五日、突然のゲリラ豪雨が二部谷を襲いました。普段は小さな流れの谷川が暴れ出し、いたるところで田畑や畦を押し流したり、土石流となつたりしました。野上川も奔流となり堰を壊したり、田に流れ込んだりしました。異常気象が私たちの生活に迫っています。一日も早く災害の復旧と生活基盤を取り戻すために、住民と行政が一体となつて汗を流し知恵を出す取り組みが急がれます。

あどがき

ふるさとの香りと知恵を



二部小学校長 木下 欣夫

二部小学校への赴任が決まったとたんにくさんの先輩先生から「二部はいいところだよ」と声をかけていただきました。先輩方は二部という地にすごい愛着の念を持っておられることを知りました。同時に愛着のある地でしっかりと教育を展開してくれという思いも感じています。

二部小学校にきての第一印象は、地域の人たちに支えられているということです。毎日と言っているほど、地域の方々が学校へきてくださいます。子どもたちには、地域の方々とふれあいを通じて、ふるさと二部の香りとそこにある様々な知恵をたっぷり吸収してほしいと思っています。

ふるさとの香りと、ふるさとで培われた知恵を受け継いだ子どもたちは、きっと将来、ふるさとを担ってくれることでしょう。

二部小学校への応援をよろしくお願いいたします。